

平成 23 年 7 月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成 23 年 7 月 28 日 (木) 午後 1 時 40 分 ~ 午後 5 時 10 分

2. 場 所 岸和田市役所新館 4 階 第 1 委員会室

3. 出席者

委員長 坂田 忠義 委員長職務代理者 毛利 高二
委員 川岸 靖代 委員 中野 俊勝 教育長 永本 定芳

4. 事務局出席者

教育総務部長	柿本 邦彦	学校教育部長	岸田 隆博
生涯学習部長	植原 和彦	理事兼生涯学習課長	森 幸子
総務課長	阪口 洋子	学校管理課長	門林 啓之介
学校教育課長	谷 桂輔	人権教育課長	篠本 治久
スポーツ振興課長	元廣 秀晴	郷土文化室長	道姓 清
図書館長	佐藤 正	産業高等学校事務長	道古 義和
総務課参事	大西 謙次	総務課参事	植田 和幸
学校教育課指導主事	人権教育課指導主事	生涯学習課指導主事	
産業高等学校教務主任			

開会 午後 1 時 40 分

前回会議録について異議なく承認された。本会議録署名者に中野委員を指名した。

傍聴人 10 名。

坂田委員長

ただいまから、平成 23 年 7 月定例教育委員会会議を開催します。

今回は、報告案件はありませんので、議案の審議に入ります。

議案第 34 号 平成 24 年度市立幼稚園児の募集について

坂田委員長

議案第 34 号平成 24 年度市立幼稚園児の募集について、事務局から説明をお願いいたします。

阪口総務課長

平成 24 年度市立幼稚園児募集要項に基づき、市立幼稚園 5 歳児及び 4 歳児を募集するものです。応募資格は、5 歳児が平成 18 年 4 月 2 日から平成 19 年 4 月 1 日までに生まれた幼児、

4歳児が平成19年4月2日から平成20年4月1日までに生まれた幼児でございます。募集要項に記載の募集人数は、4歳児と5歳児を合わせた人数で、内部進級人数を含めた人数でございます。募集日程は、5歳児は10月20日から、4歳児は10月28日から各幼稚園において願書を配布し、受付につきましては、5歳児が10月25日、26日の2日間、4歳児が11月1日、2日の2日間各幼稚園において行います。園児募集の広報については、10月1日号の広報きしわだに掲載するとともに、各幼稚園で立て看板及びポスターを掲示し、市のホームページにも掲載します。

坂田委員長

ただ今、説明が終わりました。何かご質問、ご意見がありましたら発言願います。

坂田委員長

去年は、二次募集はありましたか。

阪口総務課長

去年は、各園において定員を超えた応募が無かったため行いませんでした。

坂田委員長

他にご意見ございませんか。無いようですので、原案のとおり承認します。

議案第35号 平成24年度岸和田市立産業高等学校入学者選抜方針について

坂田委員長

議案第35号平成24年度岸和田市立産業高等学校入学者選抜方針について、事務局から説明をお願いします。

道古産業高等学校事務長

平成24年度大阪府公立高等学校等入学者選抜の方針が定められたことに伴い、平成24年度岸和田市立産業高等学校入学者選抜方針を定めたものでございます。

全日制、定時制、二次入学者選抜の日程等につきましては入学者選抜方針(案)のとおりであり、応募資格、通学区域につきましては前年と変わっておりません。

坂田委員長

ただ今、説明が終わりました。何かご質問、ご意見がありましたら発言願います。

永本教育長

入学者選抜方針については、基本的に府立高校と歩調を合わせて行っております。今年度の府立高校の入学状況を見ますと、何か動きがあるのかなとも思いますが、市立産業高等学校においては、従来どおりの選抜方針で問題ないと考えております。

坂田委員長

他にご意見ございませんか。無いようですので、原案のとおり承認します。

坂田委員長

つづきまして、議案第36号、議案第37号につきましては、教科用図書採択になりますので、関係者以外の事務局は退席されます。

議案第 36 号 岸和田市立産業高等学校(全日制・定時制)における平成 24 年度使用教科用図書の採択について

坂田委員長

議案第 36 号岸和田市立産業高等学校(全日制・定時制)における平成 24 年度使用教科用図書の採択について、事務局から説明をお願いします。

谷学校教育課長

岸和田市立産業高等学校(全日制・定時制)の教科用図書の使用について、教育委員会で採択するため、産業高等学校における教科用図書選定委員会の答申を上程するものです。

平成 24 年度の使用教科書ですが、全日制では、全部で 33 点中、3 点が新規選定、30 点が昨年度からの継続選定でございます。定時制につきましては 27 点中、1 点が新規選定、26 点が昨年度からの継続選定でございます。これより新規使用の選定理由につきまして説明させていただきます。

産業高等学校教務主任

・(教科名) 「数学」 (教科書名) 「高等学校 数学 (数研)」

(選定理由)

学習指導要領改定に伴う新規使用である。教科書のレイアウトが見やすく、例題のレベルが本校生徒に適していて、練習問題の内容も論理的に構成され、現在章末に別に掲載されている発展問題も本文中に解説付きで掲載されている。

・(教科名) 「科学基礎」 (教科書名) 「新班 基礎科学(実教)」

(選定理由)

学習指導要領改定に伴う新規使用である。本校の授業内容にちょうど良い記述が多く、週 2 時間の学習になるので、巻末の問題や公式集が充実しているものが授業を進めやすい。

・(教科名) 「公民」 (教科書名) 「高校現代社会(実教)」

(選定理由)

平成 22 年度次入学生よりカリキュラム変更を行い、1 年次に「地理」3 年次に「現代社会」を履修することになった。本書は現代社会について多様な角度から理解したうえで、特に政治・経済分野、現代の国際社会の動向や環境問題についても基礎的知識を十分に学ぶ構成内容となっている。また語句の説明も詳しく記載されている。

* 産業高等学校教務主任より定時制新規使用教科書の選定理由を説明

・(教科名) 「理科」 (教科書名) 「科学と人間生活(実教)」

(選定理由)

教科書中の「やってみよう」の実験例が身のまわりの物を使った手軽な実験が多く、日常生活で気がつかない科学を生徒が発見しやすい。テスト形式の章末問題で知識の確認だけでなく応用力を身に付けさせることができる。シンプルな構成で、文章の量とイラストの量の

バランスが適当で見やすい。

坂田委員長

岸和田市立産業高等学校における平成 24 年度使用教科用図書については、全日制・定時制ともに、選定委員会の答申のとおり採択します。

議案第 37 号 岸和田市立中学校における平成 24 年度使用教科用図書の採択について

坂田委員長

議案第 37 号岸和田市立中学校における平成 24 年度使用教科用図書の採択について、事務局から説明をお願いします。

谷学校教育課長

岸和田市立中学校の教科用図書の使用について、教育委員会で採択するため、教科用図書選定委員会の答申を上程するものです。

このたび、平成 24 年度から完全実施される学習指導要領の趣旨や、子どもたちの主体的な学習態度の育成、そして本市の生徒たちの実態を踏まえ、より本市の生徒にふさわしい教科書について慎重な審議が行われ、選定委員長より教育委員長へ答申が出されました。答申ではすべての発行者について推薦をいただいておりますので、このあと審議をしていただき種目ごとに 1 社の採択をしていただくこととなります。よろしくお願いたします。

* 各種目別に審議され、国語外 14 種目について、それぞれ 1 社の教科書が採択された。

・(種目)「国語」 (教科書名)「国語(光村)」

(採択理由)

「読むこと」を中心とした単元の中に、「書くこと」「話す・聞くこと」が計画的に配列され、習得と活用を繰り返すことで着実に言葉の力を身に付けるよう構成されている。

教材のバランスが良く、生徒自身が実体験と重ね合わせながら学習できるような教材が取り入れられ、現代の生活とのつながりを感じながら豊かな感受性が育まれるよう配慮されている。

・(種目)「書写」 (教科書名)「新しい書写(東書)」

(採択理由)

小学校との接続を大切にしていこうということから、行書を学ぶについて画数が少なく生徒にとって書きやすい教材がふさわしい。

小学校で学習したことの確認を硬筆で行ってから、毛筆による楷書の書き方を学ぶことができるよう、時間をかけ段階的に習得できるよう配列されている。

・(種目)「社会(地理的分野)」 (教科書名)「中学社会 地理的分野(日文)」

(採択理由)

大阪の資料・写真などを多く取り上げており、岸和田の地形図も掲載されているため、生徒に郷土を愛する心を持たせることができる。

地球温暖化や砂漠化など、現在地球で起こっている環境問題を取り上げるなど、学習指導要領の教科目標である環境問題への生徒の意識を強く喚起している。

- ・(種目)「社会(歴史的分野)」(教科書名)「新しい社会 歴史(東書)」
(採択理由)

世界史の取り扱いと日本史の取り扱いのバランスが良く、読みやすい。

教科書のサイズが大きく資料や写真などが見やすい。

- ・(種目)「社会(公民的分野)」(教科書名)「社会科 中学生の公民 よりよい社会をめざして(帝国)」

(採択理由)

指導要領改定に伴う「対立と合意」「効率と公正」については、各社とも工夫されている。

地理的分野と歴史的分野の学習との連携が意識され公民の学習につなげる工夫がある。

「クローズアップ」に資料写真を載せ、学習の導入について配慮がなされている。

- ・(種目)「社会地図」(教科書名)「中学校社会科地図(帝国)」
(採択理由)

A B版のため、地図がダイナミックで位置関係が理解しやすい。日本固有の領土の位置関係も別枠を使用せず容易に把握できる。

世界の各州、日本の各地方の統計、分布図が大変多岐に渡り、地域理解に大きく役立っている。また、資料の多くが地図と近いページに掲載されている。

- ・(種目)「数学」(教科書名)「中学数学(日文)」
(採択理由)

連立方程式、2次方程式、三平方の定理と円などの配列については、各社それぞれ扱いに違いがあるが日文の取り扱いが理解しやすい。

1次関数と2次関数の複合問題については各社とも取り扱っているが、本文で取り扱っているのが、日文である。

「トライ」で、「考える」「調べる」「説明する」といった問題解決の過程を重視し、数学的に活用したり考えたり判断したりするような態度が育てられるようにしている。

基本的な力をつけるためにも基礎的なことが多く入っているものがよい。

- ・(種目)「理科」(教科書名)「未来へ広がるサイエンス(啓林館)」
(採択理由)

子どもの理解を助ける図・絵・写真が充実している。

別冊「マイノート」で基礎・基本の知識・技能の定着だけでなく、発展的な学習内容も多く、個に応じた学習に対応している。

巻末の「地域資料集」はボリュームもあり充実している。

単元の扱いについて、「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」などの科学の基本的な見方や概念を柱として、理科の内容が構成されており、啓林館だけが教科書の横にインデックスで内容分けをしており分かりやすい。

場面に応じて3Dの図や資料性の高い鮮明な写真を効果的に用いている。

・(種目)「音楽(一般)」(教科書名)「中学生の音楽(教芸)」

(採択理由)

生徒自身が感じたことを直接書き込む欄を設けるなど、イメージからストーリーを作り、ストーリーにあう音を探させ、話し合う活動に結び付けるなど、言語活動を促す工夫がなされている。

・(種目)「音楽(器楽合奏)」(教科書名)「中学生の器楽(教芸)」

(採択理由)

配列について小学校からの連携を考えると、アルトリコーダーから入るほうがいい。

和楽器(琴)を十分な台数を揃えて教えることは少し困難である。

・(種目)「美術」(教科書名)「美術(開隆堂)」

(採択理由)

写真や図版が豊富で補足や発展の情報などが適度に記載されている。また生徒の制作風景や鑑賞の様子についても適切に紹介されている。

「問いかけ」が設定され、鑑賞活動の充実や言語活動の促しができるよう工夫されている。

制作のポイントやヒントを自ら見つけ、主体的に学習が取り組めるよう配慮されている。

・(種目)「保健体育」(教科書名)「新しい保健体育(東書)」

(採択理由)

解説的な教科書ではなく、子どもの主体性を引き出すようなものがある。

導入場面に書き込みがあったり、四コマ漫画をいれたりバラエティにとんだ導入の展開が工夫されている。

小・中・高の系統性が各単元の扉のページに明記されており、小学校からの発展性、高校への学習のつながりを意識できる。

・(種目)「技術・家庭(技術分野)」(教科書名)「新しい技術・家庭 技術分野(東書)」

(採択理由)

内容の構成もよく文字や重要な部分の色分けもされて見やすく工夫がされている。

「振り返ろう」などで学習の内容の理解や振り返りができるように工夫されている。

・(種目)「技術・家庭(家庭分野)」(教科書名)「技術・家庭(家庭分野)(開隆堂)」

(採択理由)

実習や実験例が豊富で、その結果は、写真を適切に記載することにより一目瞭然、生徒が見ただけで納得できるように工夫されている。

他社が「3R」を取り上げている中で、「5R」を取り上げ、環境に配慮した消費生活に

ついて工夫し、実践できるよう配慮されている。

共生の視点から、外国人・障がいのある人などのノーマライゼーションやカラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなど人権的な配慮が随所に掲載されている。

・(種目)「外国語英語」 (教科書名)「NEW HORIZON English Course(東書)」
(採択理由)

1年生入門時期の内容の取り扱いが丁寧で、生徒が学習に取り組みやすく、理解を深めることができる。

小学校外国語活動との連携について学んだことのふり返りを大事にしている。

写真の構図などが効果的に扱われており、生徒の興味関心を高めることができる。

坂田委員長

ただ今ご審議いただいた結果のとおり、岸和田市立中学校における平成24年度使用の教科用図書を採択いたします。

他に何かございませんか。

谷学校教育課長

長時間にわたるご審議ありがとうございました。今後の事務手続きにつきましては関係部局と連携を図り進めてまいります。なお、小学校の教科書につきましては昨年度に採択いただきました現行の教科書を引き続き使用いたします。

坂田委員長

それでは、本日の定例教育委員会を閉会します。

閉会午後5時10分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員